

# 男女共同参画推進事業（平成27年度実施）

枕崎市では、「一人ひとりの個性や特性を大切にしていこう」という男女共同参画の基本的な考え方を広めていくための取組として、次のような講座や研修会を開催しています。

## 第1回自分づくり講座 ～親子で楽しむ絵本読み聞かせ講座～

8月2日、「親子で楽しむ絵本読み聞かせ講座」を開催し、9組の親子24名が参加しました。NPO法人読書推進団体枕崎みしのたくかにと理事長の朝田栄子さんを講師に迎え、絵本の選び方・読み方を学び、わらべうた遊びや親子製作などを行い楽しいひと時を過ごしました。

朝田さんは「絵本の世界には、自然や科学、遊び、哲学などたくさん詰まっている。読んでいる時に子どもが動き回っても大丈夫、ちゃんと耳で聞いて感覚で覚えている」と話され、絵本とそれを楽しむ子どもの素晴らしさを伝えました。

### 参加者の感想

- ・子どもとの時間を、もっと絵本で満たそうと思った。（40代女性）
- ・親子製作もあり、わらべうた遊びもでき大変良かった。また参加したい。（20代男性）
- ・絵本の紹介をしてもらい、大変参考になった。（30代女性）



## 第2回自分づくり講座

### ～国際理解講座・シンガポールの文化と家庭料理を学ぼう～

10月3日、県国際交流員による文化紹介講座を活用した、「国際理解講座・シンガポールの文化と家庭料理を学ぼう」を開催しました。市内の40～70歳代の男女13名が参加し、講師の県国際交流員 郭 映嫣（クワ・イヤン）さんから、シンガポールの家庭料理やシンガポールの家庭における男女共同参画の現状について学びました。

調理実習では、様々な具が入った五目炒飯のような「揚州チャーハン」、人参・じゃがいも・玉ねぎなどの野菜がたっぷり入った「ABCスープ」、豆乳で作るヘルシーなデザート「豆花(トファ)」の3品を作りました。各班で役割を分担しながら調理を進め、出来上がった料理を全員で試食しました。

シンガポールにおける男女の役割分担についての講話では、「日本と同じく、シンガポールでも少子化が深刻である。子育てや家事は基本的に女性がしないといけないので、妊娠したらいったん退職するなどの理由から管理職に就く女性が少なく、女性参画推進組織といったものもない。シンガポールは、女性の地位向上というよりも、メリトクラシー（能力主義）の方が重視されている」といった話があり、受講生は熱心に耳を傾けていました。

#### 参加者の感想

- ・男性の参加が多くなってきて良かった。（70代女性）
- ・色々な年代の方と楽しく料理や会話ができて良かった。（40代女性）
- ・5回目の参加。国際交流ができて良かった。（60代男性）
- ・シンガポールという名前しか知らなかった国を身近に感じた。（50代女性）



## 男女共同参画研修会 ～ D V 研 修 会 ～

11月27日、「DV研修会」を開催し、市役所や市内各団体・企業などから40名が参加しました。県のアドバイザー派遣事業を活用し、神戸女子大学教授の下敷領須美子先生を講師に迎え、「DVを正しく知って支援につなげよう」と題してご講演いただきました。

下敷領先生は、「DVを正しく理解してほしい。DVの特徴は愛情関係がある間柄に起こってくる暴力で、周囲はなかなか踏み込みにくいということがあがるが、そういった個人的なことではなく、社会的な問題にしていこうと大きく変わってきている。DVは人権問題であり、一人ひとり自分が自分であることが認められるという基本的な人権の考え方から、DV対策が考えられるようになった。『あなたの身の安全と健康について心配しています』といった言葉を伝え、『これからもずっと支援を続けていきますよ』というメッセージを入れていけば、支援につながっていくのではないかと思う」と話され、性別にとらわれず個人として尊重される男女共同参画社会の実現の重要性についての意識をさらに深めることができました。

### 参加者の感想

- ・ 数字をみれば、身近に起きていることなので、DVに対する認識を深めたい。(30代男性)
- ・ 初めて受講したが、学校でもこういった授業をしていく必要性を感じた。(30代女性)
- ・ DVの被害者は自ら声を上げにくい現状を知り、異変に気付いたら声を掛けてみようと思った。(30代女性)



## ～パープルリボンツリーの設置～

11月12日～25日の「女性に対する暴力をなくす運動」期間中，市役所市民ホールにパープルリボンツリーを設置しました。

ツリーの設置は，女性に対する暴力根絶運動のシンボルであるパープルリボンをツリーに結んでもらうことで，女性に対する暴力について考えてもらおうと実施したもので，100本を超えるリボンが市民や市職員の手によって結ばれました。

また，さらなる意識啓発を図るため，DV対策のチラシやパープルリボンバッジと相談機関カードをセットにしたものをツリー横に設置しました。



### 《 女性に対する暴力をなくす運動 》

平成13年6月5日，国の男女共同参画推進本部において，毎年11月12日～25日を「女性に対する暴力をなくす運動」期間とする決定がなされた。期間中，地方公共団体及び関係団体が連携して女性の人権尊重のための意識啓発を図ることとしている。

## 男女共同参画フォーラム ～ まくらざき ハーモニーフェスティバル ～

2月20日、南薩地域地場産業振興センターで「まくらざきハーモニーフェスティバル」を開催し、およそ200名の市民が参加しました。

オープニングでは、男女共同参画の推進やいろいろな場面で地域づくりに携わっている、ハーモニーネットワーク委員会の活動紹介を行いました。

鹿児島県立短期大学教授 福田 忠弘 さんの「見上げだ夫婦（メド）が居ったもんじゃ～原耕と千代子の物語～」と題した講演では、黒島流れで夫を失った女性たちが生計を立てるために始めた鰹節行商や、漁業基地建設中にインドネシアのアンボンで亡くなった原耕の志を継いで、妻の千代子が事業を立て直そうとしたことが当時の資料から推察されることなどを交え、枕崎の女性活躍の歴史などについて話をされました。

講演終了後には、まくらざきハーモニーネットワーク委員会による恒例の抽選会と茶節の振舞いがありました。抽選会では会員が持ち寄った賞品に加え、市内企業・団体から特産品などの提供があり、多くの来場者に喜ばれました。

### 参加者の感想

- ・近隣の方の生きざまを題材に、男女共同参画を考える良い機会だと思った。（50代女性）
- ・枕崎発展のため一生を捧げ尊敬する。（90代男性）
- ・鰹節行商だった婆ちゃんを思い出した。千代子夫人すごい、あらためてそう思った。（70代女性）

